

2023年11月10日

ガザ緊急支援・自主上映会開催ご案内

特定非営利活動法人パレスチナ子どものキャンペーン

★ガザの映画を上映しませんか。

この度のガザ緊急支援について、ご協力のお申し出をいただき、ありがとうございます。

パレスチナの人たちのこと、生活や思いをもっと知ってほしいという思いから、ご協力いただける方法のひとつとして、ガザを舞台にしたドキュメンタリー映画の上映をご提案します。

地域や学校、お寺や教会などの会場を探す、DVDを映すための機材・備品を借りる、お知り合いに声をかける、という活動です。参加費を取っていただくと、会場費などをカバーできますし、余ればご寄付としていただくと助かります。また会場で寄付を募っていただき、ガザへの募金として当会にお送りいただくと幸いです。ぜひ、知人友人とご一緒に、ご検討よろしく願いいたします。

* 公共施設や学校は、規定により金銭の授受ができない場合があります。事前にご確認ください。

①『ガザ 素顔の日常』(2019年/92分/監督ガリー・キーン、アンドリュー・マコーネル)

ガザに住む様々な人たちの等身大の姿から、ガザの市民の思いを知ってほしい。

※貸出詳細はユナイテッドピープル(配給元)のサイトからご確認をお願いします。

<https://www.cinemo.info/109j>

緊急上映ライセンス(11月中)最低保証料金44,000円(税込)それ以降55,000円

ユナイテッドピープルでは、12月には新しいガザの映画を上映予定です。

②『ガーダ パレスチナの詩』(2005年/106分/監督:古居みずえ)

ハンユニスに住む若い女性ガーダの思いと生き方を描く。今回の爆撃で、ガーダは36人の親族を失った。

※映画詳細:<https://tofoofilms.co.jp/catalog/catalog-110/>

③『ぼくたちは見た ガザ・サムニ家の子どもたち』(2011年/86分/監督:古居みずえ)

2008-2009年のイスラエル軍の侵攻によって、家族を亡くした子どもたちの証言。

※映画詳細:<http://whatwesaw.jp/>

*②と③は、監督からのご好意で、年内は当会からも無料で貸し出しすることが可能です。

*DVDは販売されていますので、個人で見ると方は各作品の詳細ページから購入してください。

*上映に必要な機材・備品

DVDプレイヤー(またはパソコン)、プロジェクター、スクリーンなど

DVDを映すためのPCや、DVDプレイヤーとプロジェクターがある公共施設などを借りれば、それほど難しくなくできます。

*②③の貸出を希望される方は、お申込書にご記入をお願いしています。

①は直接、配給会社にお問い合わせください。

*送料: DVDご返却時は送料のご負担をお願いします。

*配布資料:「チラシや会報サラム」、団体リーフレット、ガザ緊急募金のお願いチラシなどを同封します。希望枚数をお知らせください。

*詳しくは事務局までお問い合わせください。

パレスチナ子どものキャンペーン 問い合わせメールアドレス: volunteer@ccp-ngo.jp

お問合せ先: 特定非営利活動法人パレスチナ子どものキャンペーン

住所: 〒161-0033 東京都新宿区下落合 3-12-23 豊ビル4F

電話: 03-3953-1393 Fax: 03-3953-1394